

<入院診療計画書>

体腔鏡下腎摘出術を受けられる患者様へ

病名[腎腫瘍]

症状[]

入院時必ず持参してください

倉敷中央病院 泌尿器科
 入院年月日:平成 年 月 日
 退院年月日:平成 年 月 日

様 主治医() 受持看護師() 受持薬剤師() 説明者()

経過	入院前	入院日 (/)		手術当日 (/)		術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目 (/)	術後6~8日目 (/ ~ /)
		手術前日 (/)	術前	術後	退院				
目標	手術の目的が理解できる	手術の関連した説明内容が理解でき、実施できる		全身状態に関し、手術可能である	意識レベルが清明で血圧・呼吸が安定している、痛みが軽く夜間入眠できる	血圧が安定している、ドレンからの排液が少ない、離床できる	ドレンの排液の性状に異常がない、高熱がない	創部の感染がない、痛みが改善する	術後の合併症がない、退院後の自己管理ができる
検査受診	・手術に必要な検査があります * 検査で異常があれば他科受診があります		・麻酔術前診察		・手術後から翌日朝まで心電図モニターをつけます	・採血 			
処置			・おへその掃除をします ・下剤内服があります。	・朝、排便なければ坐剤処置があります。 ・手術前に弾性ストッキングを履きます ・褥創予防のために軟らかいマットレスを使用します。歩行可能になったら通常のマットレスへ変更します。	・お腹に管が入ります ・指示にて酸素吸入をします ・尿を出すための管を入れます ・痛み止めの薬が背中から入ります		・お腹の管を抜きます ・ガーゼを交換します 		・痛み止めの管を抜きます
薬剤	・医師より中止を言われた薬は内服しないでください	□内服薬は医師の指示のもとで服用して下さい 		□指示により点滴をします □指示にて筋肉注射をすることがあります □内服薬は麻酔科医の指示によります	24時間点滴を続けます ・抗生物質の点滴を手術室でします  ・痛みに対しては痛み止めなど、吐き気に対しては吐き気止めなどの援助をさせていただきます	□水分がとれたらいつでもおり内服薬を服用してください □抗血小板剤、血糖降下剤は再開日をお知らせします			
安静度		・制限はありません			・ベッド上安静ですが寝返りはできます	・歩行開始			
食事	・制限はありません	・普通食 	・普通食 ※飲み物は水、お茶など透明なもののみとしてください	・絶食 ・水分は()時迄とれます 	・絶飲食 	・許可があれば朝から水分がとれます ・問題なければ昼から三分粥 夕方から普通食になります。 	・普通食 		・退院前に栄養指導
排泄		・トイレ			・排便はベッド上	・トイレ			
清潔		・入浴できます 				・体を拭きます ・陰部を洗います 		・お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます	・入浴できます
説明指導	・入院前オリエンテーション ・入院の手続き	・入院時オリエンテーション ・手術前オリエンテーション ・手術説明(主治医)  時間未定		・ご家族の方は手術開始2時間前までには病室へお越しください	・手術の結果(患者・家族) 	・離床の説明 ・歩行練習 点滴や管の取り扱いについて			・日常生活指導 

* 病状に応じて予定は変更することがあります。ご不明な点があれば、主治医・看護師にお尋ねください。

傷の痛みがない、もしくは内服薬で日常生活に支障がない程度であれば退院できます

上記の入院診療計画について説明を受け、了承しました。

患者(家族あるいは同意者氏名)氏名:

説明日: 月 日

H14年5月作成Ver1.0
 H14年6月12月H15年6月H15年11月H18年2月修正
 H20年12月修正Ver2.7平成24年3月改定H24年10月修正

特別な栄養管理の必要性 有・無

●総合的な機能評価(該当する場合別紙にて評価)